

第 15 回研究発表大会開催のお知らせ

大会テーマ「安心して暮らせる地域づくりのために」 ~人と人をつなぐ笑顔の架け橋~

各施設より研究テーマを持ち寄り研究成果を発表します。

また、講師として滋賀県立大学人間看護学部長 甘佐(あまさ)京子 氏を招いての特別講演会や、西川裕治 氏を 招いての人権研修も行いますので、みなさんお誘い合わせの上ご参加ください。



場:米原市民交流プラザ(ルッチプラザ)

特別講演:講師 甘佐 (あまさ) 京子 氏 (滋賀県立大学人間看護学部長) 公演時間:13時30分~15時 講演内容:「笑いがもたらす健康へのヒント」

人権研修:講師 西川裕治 氏

公演時間:15時15分~16時

入場料:無料

問合せ:社会福祉法人 青祥会 法人本部 (担当:山本・藤井)





- 高齢者の免許返納制度とは~

近年、アクセルとブレーキの踏み間違え事故や認 知症での認知能力の欠如による事故など、高齢ドラ イバーによる交通事故が増加傾向にあります。そこ で、運転免許自主返納についてお話しします。

の道路交通法の改正により導入されました。自主返 納すると、代わりに「運転経歴証明書」の交付を受 けることができます。運転経歴証明書は過去の運転 経歴を証明するものであり、身分証(本人確認書類) としても使え、さらにはお店で割引サービスが受け られるなどさまざまな特典を受けることができます。

「自分は、まだまだ大丈夫!」と、他人事とは思わず、 判断能力の衰えや運転技能の低下を感じたら素直に返 納をお勧めします。

また、生活のために車がどうしても必要なため高齢 抑制装置等を搭載された車も発売されています。

事故を起こして被害者・加害者ともに不幸にならな いために、この機会に周囲の方も含め一度見直される

お問い合わせ先

社会福祉法人 青祥会 法人本部

〒526 - 0828 滋賀県長浜市加田町 3360 番地 TEL. 0749-68-4114 FAX.0749-68-4116 E-mail honbu@seishokai.jp http://seishokai.jp/official/





職員募集

青祥会では職員の募集をしています。 先輩職員がやさしく指導させていただ きます。また、働きながら法人内の研 修を受講することで資格取得も可能で す。詳しくは法人本部までご連絡くだ さい。

ボランティア募集

各種ボランティアの募集を行ってい ます。各施設、または法人本部までご 連絡ください。

Take Free



KASHO



特別養護老人ホームアンタレスより伊吹山を望む

かしょう(嘉祥) 嘉(喜び事)祥(きざし) 喜び事の兆しをあらわす



かしょう 創刊号 かしょう 創刊号

ごあいさつ



社会福祉法人 青祥会 理事長 畑下嘉之

平素は、青祥会に対しまして、深いご理解とご協力、 また、格別のご支援とご厚情を賜り心から厚く御礼を 申し上げます。

2018年は、戌年です。犬(戌)は、沢山の子ども を産み、特に「戌の日」は、帯祝いのおめでたい吉日 とされています。そうした意味におきましても、是非 今年は、世界中の人達が「実り多い幸せな一年」とな りますよう心から願うところであります。

さて、青祥会は、昨年、創立35周年の節目を迎え ることができました。また、今年は、セフィロト病院 が昭和33年4月の開院から創立60周年の節目を迎 えます。

今日に至るまで、青祥会の発展を支えていただきま した地域の皆様、医療・福祉関係の多くの先生方、また、 行政関係の皆様等の一方ならぬご支援の賜物と心から 感謝申し上げます。

我が国は、男・女とも平均寿命が80歳を超え、人 生百年時代を迎えることとなりました。滋賀県におき ましては、男性が全国1位、女性が全国4位の長寿と なり、滋賀県に住めば健康で長生きができる県という ことで、滋賀県民としましては、お国自慢の中でも、 最高の誇りでありこの上ない喜びと思います。

これからは、健康と長寿の秘訣を、県民の誰もが大 切にして、さらに住みやすい健康長寿日本一の県とな ることに貢献できればと存じます。

また、我が国は、急速な少子高齢化の進展とともに、 人口減少による労働力人口の減少が始まり、今後は、 医療・介護・福祉分野も大幅に人材が不足して参りま す。

人材の確保は、質の高いサービスを提供する上で、 極めて重要な喫緊の課題です。一法人が、単に人材 の確保だけに走るのではなく、医療・介護・福祉関 係者をはじめ地域全体として「人」を育てていくこ とが重要なことと考えます。

関係者等のより一層の連携のもと、人材不足への 対応も含め、地域のあるべき姿を探り、「我が事・丸 ごと」として捉え、県民一人ひとりの暮らしと生き がい、また、地域が共に助け合う地域共生社会を創 生することが必要です。

青祥会としては、地域の関係者・関係機関等が、 共にそれぞれの「力」を出し合って、この人材不足 という難局を乗り越えていきたいと思っていますの で、今後ともよろしくお願い申し上げます。

この度、地域の皆様に青祥会の社会福祉事業につ いて、より一層のご理解を賜ることを目的に、広報 誌「かしょう」を発刊することとなりました。

広報誌では、各種行事や情報、地域への貢献活動 等を広く皆様にお伝えすることとしております。

この広報誌を通じて、より多くの方々からご意見 をいただき、地域の皆様に身近な施設として、親し みを感じていただけるよう努めて参りますのでよろ しくお願い致します。

「かしょう」が、地域の皆様と当法人との懸け橋と なることを祈念して、挨拶と致します。

平成 30 年 2 月

社会福祉法人 青祥会 理事長 畑下 嘉之

年間行事

· 創立記念昼食会

毎年、法人の創立記念日である3月8日 には、患者や利用者の皆様に感謝を込めて、 特別な食事を提供しています。これからも 法人の理念である"和顔愛語"の心を忘れず、 地域に根付いた法人を目指していきます。

・お花見

桜の開花を心待ちにしている患者や利用 者の皆様が多く、桜の開花に合わせて近隣 公園等へお花見に出かけたり、天気の良い 日には外でお花見弁当を頂きます。

・運動会

みんな一緒になって競技に参加し、日頃 の機能訓練の力を発揮し、よい汗を流され ます。





ます。

納涼祭

地域の皆様にご協力をいただいて開催す

る納涼祭は病院・各施設の一大行事です。

やぐらを組んで盆踊りや、夜店の食べ物を

食べ、暑さを忘れ楽しい時間を過ごします。

敬老の日に利用者の皆様の健康と長寿をお

祝いして、食事会や彼岸法要を実施してい



・敬老昼食会、彼岸法要



文化祭 (催し物)



文化祭 (展示)



年末餅つき大会



患者や利用者の皆様や職員による手作り



の作品展示や、ボランティアの皆様による 催し等、毎年恒例の芸術の祭典を開催して います。文化祭は1週間開催され、様々な イベントにて芸術の秋を満喫されます。

・クリスマス会、忘年会

クリスマス会は、笑顔いっぱいの1年で 終えられるように職員が様々な出し物を準 備して開催しています。普段と異なる職員 の姿に患者や利用者の皆様も大笑いです。

・年末餅つき大会

餅つき大会は毎年福が来るよう12月29 日に実施しています。昔とった杵柄で、杵 さばきと手返しの技に職員は見惚れるばか りです。ついたお餅はきな粉餅等でいただ きます。



かしょう 創刊号 かしょう 創刊号

研修事業

青祥会では、地域に向けて次の2つの研修事業を実施しています。

- ①「介護職員初任者研修」: 平成 11 年から開始した「ヘルパー 2 級研修」から平成 25 年に名称変更した研修で、修了者は 706 人になります。
- ②「介護福祉士実務者研修」:介護福祉士国家試験を受験するための必須条件となっている研修で、平成25年から開始し79人が修了しています。

平成 22 年から介護福祉士国家試験の支援を目的とした外部講師による受験対策講座を実施しており、平成 28 年度からは公開講座として広く地域に公開し、多くの合格者を送り出しています。



研修の様子

出前講座

青祥会では、平成 28 年から福祉・介護の仕事についての内容や魅力、やりがい等を正しく知ってもらうため、実際に働いている介護福祉士等を講師として、学校に出向く「福祉・介護出前授業」を実施しています。平成 28 年 10 月には長浜南中学校の 3 年生 147 人を対象とした出前講座を行い、平成 29 年は長浜市内の 5 校から依頼を受け、7 月から出前講座を担当させて頂き、虎姫中学校、長浜南中学校、鏡岡中学校、長浜西中学校の 4 校の生徒の皆さん 423 人と出会い楽しい時間を共にすることができました。

出前講座の内容を紹介すると、「介護体験ツアー」と題したプログラムでは①アイマスクを装着しての歩行②車椅子で段差のある場所を走行する③白内障を設定した眼鏡と軍手をつけた状態で、文字を読み指示された金額で買い物をする④足や手におもりをつけて動くといった体験を生徒同士でペアを組んで行いました。

生徒の皆さんからは、高齢者のからだの状態を疑似体験したことで、小銭の取りづらさや見えにくさを知り、「だからお年寄りはレジで時間がかかっているんですね」等の感想が聞かれ、高齢者を身近に感じることができたようです。

出前講座を受講する前と後では、生徒の皆さんの介護に対するイメージカラーがオレンジ・黄色といったあたたかい色に変化していました。これからも地域に根づいた活動を進めて行きたいと思います。







長浜市内の中学校での出前講座の様子

交通安全運動

長浜市加田町内を通る県道 510 号線は、幹線道路である国道 8 号線を避けるため、朝夕の時間帯は車両交通量が非常に多い道路です。そのため、加田町内の皆様は、登下校時に児童の安全確保のため毎日安全パトロールを実施されています。加田町内に青浄苑、長浜メディケアセンター、アンタレスの 3 施設を設置しています青祥会としても、地域と共に交通安全を願う目的から、毎月 1 日に施設前で地元駐在所警察官ご参加のもと交通安全啓発活動を行っています。

また、全職員を対象に毎年安全運転講習を行い交通安全意識向上と安全運転の実施を啓蒙していますが、今後も継続して安全な街づくりに協力して参ります。



施設前での交通安全啓発の様子

事業所マップ



①セフィロト病院 認知症疾患医療センター グループホーム おりひめ・ひこぼし ②介護老人保健施設 長浜メディケアセンター 短期入所療養介護 通所リハビリテーション ③介護老人保健施設 坂田メディケアセンター 短期入所療養介護 通所リハビリテーション ④特別養護老人ホーム 青浄苑 短期入所生活介護 ⑤特別養護老人ホーム アンタレス 短期入所生活介護 ⑤特別養護老人ホーム アンタレス 短期入所生活介護 ⑥特別養護老人ホーム アンタレス が見りるが、 アンタレスが同看護ステーション アンタレスケアブランセンター アンタレスケアブランセンター ⑥特別養護老人ホーム 青芳

●特別養護老人ホーム 坂田青成苑 短期入所生活力護 坂田デイサーにスセンター ケアハウス さかた 坂田ケアフランセンター

❸特別養護者人ホーム やまびこ 短期入所生活介護 デイサービスセンターやまびこ 秦荘ケアブランセンター

●南長浜地域包括支援センター

▽特別養護老人ホーム 青芳 短期入所生活介護 デイサービスセンター青芳 ケアハウスアシ・アエ ケアブランセンター青芳

●長浜西部福祉ステーション 長浜長寿デイサービスセンター 長浜西部デイサービスセンター 西部ケアブランセンター

山東デイサービスセンター



セフィロト病院



介護老人保健施設 長浜メディケアセンター



介護老人保健施設 坂田メディケアセンター



特別養護老人ホーム 青浄苑



特別養護老人ホーム アンタレス



特別養護老人ホーム 坂田青成苑



特別養護老人ホーム 青芳



特別養護老人ホーム やまびこ

法人創立 35 周年

Anniversary

地域の皆様のおかげを持ちまして、平成 29(2017) 年 3 月 8 日に青祥会は創立 35 周年を迎えることができました。これを記念し同年 8 月 27 日に、テレビ等で活躍中の菊池幸夫弁護士を迎え記念講演会を開催し、地域の皆様や職員など約 400 名が「菊池流、魅力的人生のススメ」をテーマとした同氏の熱のこもった話や世情を反映した法律相談の興味深い話に魅了されました。

引き続き会場を変更し、来賓・招待者・職員など約 400 名の参加のもと、10 年、20 年、30 年の永年勤続者 40 名の表彰式の後、職員有志による華やかなバンド演奏で祝賀会がスタートしました。創立記念を祝し、今回も理事長郷里の和歌山県勝浦港より直送の約 60Kg の大マグロ 3 匹の解体ショーが職員の実況中継で進められました。

新鮮マグロをはじめ、華やかなおいしい料理を参加者一同堪能し、35周年を祝しました。



記念講演会の様子









かしょう 創刊号

南長浜地域包括支援センター

長浜市内には5つの地域包括支援センターが設置されています。その中の1つ、南長浜地域包括支援センターは、 平成28(2016)年4月に長浜西部福祉ステーション内に設置され、長浜市から委託を受け青祥会が運営をしています。 管轄する地域は、市街地・西黒田・神田・六荘の4エリアです。地域の高齢化率は25%、高齢者人口は6,900人 を超えています。

平成 28 年度の相談件数は 3,189 件で、介護や認知症に関係する相談が 2,141 件 と相談の約 7 割を占めています。

現在、主任ケアマネジャー・保健師・看護師・社会福祉士の資格を有する6名の職員が、地域の高齢者のあらゆる相談に応じ、一人ひとりの声を形にしていく「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。

地域におけるさまざまな課題を地域の皆さんとともに、地域で解決していく新しい時代の創造に関われることを誇りとし、取り組んでいきます。



平成 29 年 12 月 11 日 長浜小学校での認知症啓発の様子

認知症疾患医療センター

セフィロト病院では、認知症医療に特化した医療機関・病棟を望む声が高まったことから、平成27(2015)年5月1日に認知症治療病棟を開設したのに続き、滋賀県の指定を受けて平成27(2015)年10月1日より認知症疾患医療センターを開設しました。センターでは①認知症の鑑別診断とそれに基づく初期対応②周辺症状や身体合併症への急性期対応③専門医療相談④地域連携拠点機能の役割を担っており、日々、ご本人やご家族、かかりつけ医の先生方からの相談に対応しています。また介護支援専門員やかかりつけ医などの専門職を対象とした研修や、地域住民を対象とした公開講座など、認知症の理解を深めていただくための啓発活動にも力を入れています。「認知症になっても安心して暮らせる湖北地域」をモットーに地域の要としてその機能を発揮し、地域の皆様から信頼される機関を目指し日々研鑽を重ねています。

平成 28 年度相談件数	748 件
初診患者数	122人
延べ受診者数	267人



センター公式キャラクター 「いろはちゃん」



平成 29 年 9 月 9 日 認知症公開講座の様子

福祉避難所

福祉避難所とは、災害救助法に基づき市町村が入所型福祉施設などと事前に協定を結び、必要と判断された場合に市町村の要請を受けて開設されます。学校や公民館などの1次避難所で過ごすのが困難であり、特別な配慮が必要な要援護者向けに設けられる2次避難所です。開設期間は原則として災害発生の日から最大7日間で、延長は必要最小限の範囲にとどめる事となっています。運営については、施設の職員のほか地域内のボランティアによって実施されます。

福祉避難所は、地域や生活圏のコミュニティを重視した身近な施設と、専門性の高いサービスが提供される施設に大別され、福祉避難所として指定されるのは施設全体の安全性(耐震・耐火など)が確保されているとともに、手すりやスロープなどのバリアフリー化が図られ、要援護者の安全性も確保された施設となります。

青祥会では、災害時に要請を受け開設する福祉避難所として長浜メディケアセンター、青浄苑、長浜西部福祉ステーション、アンタレス、青芳の5ヶ所が長浜市と協定を結んでおり、アンタレスは滋賀県とも協定を結んでいます。 有事の際にも、地域の福祉サービスが必要とされる方に寄り添ったサポートができる様、備えております。

法人委員会紹介

青祥会では、事故対策委員会をはじめとした 11 の委員会があり、医療、福祉、研修など専門分野ごとに目的を持って取り組み、それぞれの組織が連携を図っています。今回は 5 つの委員会の紹介をします。

法人内委員会等一覧

特別委員会

災害対策特別委員会

会議

衛生管理者会議防火管理者会議

委員会

中期経営計画推進委員会 新人事制度構築委員会 在宅ケアシステム推進委員会 医療介護安全対策委員会 看護介護記録電子化推進委員会 人権教育推進委員会 教育研修委員会 感染症対策委員会 介護保険対策委員会 事故対策委員会 広報委員会

部

栄養士部会 看護部会 ケアワーカー部会 相談員部会 リハビリ部会 事務部会 計画担当介護支援専門員部会 在宅部会

人権教育 推進

患者・利用者の皆様の人権尊重、職員倫理の周知徹底、働きやすい職場づくりを三つの大きな柱として活動しています。今年度は身体拘束廃止、虐待防止に関する研修参加の義務付け、各施設において共通のDVD研修を実施、アンケート集計結果をもとに倫理について職員の認識を共有、人権啓発等に関するポスターを各施設に掲示し、意識付けを図るとともに差別のない働きやすい職場づくりを目指しています。

法人内の研修計画、運営等を主な活動として取り組んでおり、その研修体系は、法人の成長に不可欠な基本的なスキルを持った人材への育成を目的とした「専門研修(7分野)」、事業戦略の企画・見直しを行う事が出来るビジネス感覚、リーダーシップを取れる人材の育成を目指した「階層別研修(管理職〜新入職員)」に大別されています。そして、より多くの職員が学ぶ機会を提供するために、専門研修の内容を DVD に編集し参加者のみならず参加できなかった職員も学べるようシステム化しています。また、毎年 300 人余りの参加者が集う「研究発表大会(3 月開催)」では、日頃のケアや業務の中での工夫や改善の結果を報告し、互いの取り組みの効果等を共有し、活性化する貴重な場となっています。



感染症 対策 _{季鼠会}

法人内の事業所で起こるさまざまな感染症から患者・利用者、職員の安全を守るために 活動を行う組織で、横断的に法人全体の感染予防対策活動に取り組んでいます。

活動の目的は、1. 患者・利用者を感染から守る 2. 職員を感染から守る 3. 医療の質の改善(向上) 4. 資源(人・物・金)を有効活用することです。感染症に関する職員の理解と知識の標準化を図れるように、年1回は法人内の専門研修において感染症対策に関する研修を開催しています。また、本年度から感染症の発生時に発症状況を共有するためのツールを構築し、情報発信だけでなくその情報を感染症予防活動にも活用できるようになっています。

患者・利用者の皆様が安心して、安全に快適な日常生活を送れるように、事故の予防と対策に取り組んでいます。法人内で起こった事故のデーターを取りまとめて、各施設で共有して事故の再発防止に努めています。今年度は、危険予知チェックなどを行い、事故対策委員会が各施設を巡回して、多方面の視点を持って事故の防止に努めています。また、委員会内で研修を実施して知識を深めています。





法人の考え方等を社会に伝え、イメージの向上や組織力を生かした戦略的な広報活動を 行うことを目的として、昨年度新たに委員会として発足しました。

ホームページや広報誌などの作成、見直しを行い、地域に向けて迅速な情報提供や定期的な情報発信を行っています。また、介護の仕事内容がイメージできる DVD を作成して、学校や就職希望者に向けて配信し、仕事の楽しさを伝え、新たな人材確保に繋げています。

かしょう 創刊号